

11月は長崎県ケアラー支援月間です

長崎県ケアラー支援シンポジウム2025

ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

働きながら介護をする人も、子育てと介護を同時にする人も、
大人に代わって家族のお世話をする子どもも。
みんなでケアラーを支える社会を目指して。

●日時：2025年11月15日（土）13:30～16:00

●場所：長崎県庁302～305会議室（長崎市尾上町3番1号）

※基調講演のみライブ配信を行います。

基調講演

「介護離職問題から考えるケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役
和氣 美枝 氏

セミナーA

「支援が必要な子どもを持つ ケアラーに対する支援について」

NPO法人長崎ファミリーハウス 副理事長
多田 ひとみ 氏
高次脳機能障害小児家族会
「よりよりホームズ」副会長
西川 友子 氏

セミナーB

「ヤングケアラー支援について考える ～『子どもの貧困』の視点から～」

長崎大学教育学部 准教授
小西 祐馬 氏

【司会・コーディネーター】

社会福祉士事務所 まきの木 代表 毛利 真紀 氏

●詳細やお申込み方法は、裏面をご覧ください。



長崎県ケアラー支援シンポジウム2025 ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

基調講演

ライブ配信あり

「介護離職問題から考える ケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役

和氣 美枝氏

一般企業での勤務中、母親の突然の発病により介護生活が始まり、介護離職を経験。その後、自身の苦しい体験を通じて「介護者が孤立せず、自分らしく生きられる社会」の必要性を痛感し、「ワーク&ケアバランス研究所」を設立。

介護と仕事の両立支援を軸に、企業向けセミナー や相談窓口の運営、現役介護者としての実体験を活かした講演活動や、介護者支援の現場に寄り添いながら働く介護者の声を社会に届ける活動を展開している。



セミナーA

ライブ配信なし
映像は後日公開

「支援が必要な子どもを持つ ケアラーに対する支援について」

支援が必要な子どもの支援に携わる県内団体に、活動の内容や日々の活動の中で感じていることなどをお話し頂き、ケアラー支援の大切さについて理解を深める機会とします。

NPO法人 長崎ファミリーハウス

副理事長 夢田 ひとみ 氏

長崎ファミリーハウスは、長期入院を余儀なくされている子どもたちとその家族の精神的・経済的な負担を軽減することを目的とした宿泊施設。
入院中の子どもに寄り添う家族がゆっくりくつろげる
「第2の我が家」として、安価で提供している。
離島をはじめとした県内各地のほか県外からの利用もあり、延べ利用者数は1,800名を超える。(令和7年8月時点)



高次脳機能障害小児家族会
「よりよりホームズ」副会長

西川 友子 氏

よりよりホームズは、交通事故や脳卒中などにより記憶や思考の機能が低下する「高次脳機能障害」をもつ子どもとその家族が悩みごとや気持ちを共有する場として令和4年5月に発足。
親同士の話し合いや情報交換、高次脳機能障害を持つ当事者やきょうだいを含めた交流会などを定期的に開催している。高次脳機能障害と診断されていない方、高次脳機能障害をもつ大人も参加可能。



申込方法

会場、またはオンラインで参加できます。二次元バーコードまたはURLから申込フォームにアクセスのうえ、必要事項を入力してお申込みください。
<https://forms.office.com/r/RrjVAEWA9a>

参加申込フォーム



会場

長崎県庁302~305会議室（長崎市尾上町3番1号）
※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

家族の介護等を行うケアラーが、誰にも頼れずに孤立したり、心身が疲弊してしまうことが問題となっています。県では11月を「長崎県ケアラー支援月間」とし、社会全体で支える仕組みの構築に取り組みます。

タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 シンポジウム開始・基調講演

14:45 休憩

【司会・コーディネーター】
社会福祉士事務所 まきの木 代表
毛利 真紀 氏

15:00 テーマ別セミナー

A: 支援が必要な子どもを持つケアラーに
対する支援について

B: ヤングケアラー支援について考える
～「子どもの貧困」の視点から～

16:00 シンポジウム終了

※テーマ別セミナーは、申込み時にA・Bのどちらかひとつを選択いただき、希望する方に参加していただきます。

※基調講演のみライブ配信を行います。
テーマ別セミナーを含む全体の映像は、後日公開します。

セミナーB

ライブ配信なし
映像は後日公開

「ヤングケアラー支援について考える ～『子どもの貧困』の視点から～」

ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちが抱える日々の負担や悩みを正しく理解し、共感を深めるとともに、「子どもの貧困」の視点から、ヤングケアラーにどのような支援やサポートが必要かを考えます。

長崎大学教育学部准教授

小西 祐馬 氏

長崎大学教育学部准教授。専門は児童福祉・
貧困研究。

「子どもの貧困」についての研究や、困難にある
子ども・家族に対応できるような保育者・教員の
養成に取り組んでいる。



主な著書（編著）に、『シリーズ子どもの貧困②
遊び・育ち・経験——子どもの世界を守る』
(明石書店)、『貧困と保育』(かもがわ出版)など。

会場

長崎県庁302~305会議室（長崎市尾上町3番1号）
※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

長崎県長寿社会課

☎095-895-2434